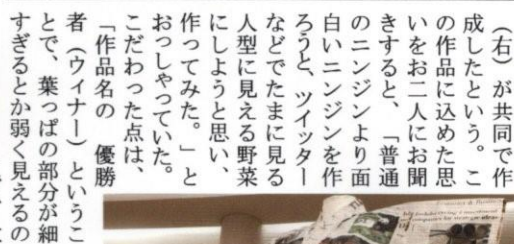


第3展示室を中心に展示された美術・工芸作品。壁際には絵画が天井から吊るされ、工芸作品は展示台や展示室のスペースに設置されている。数多くの作品が並ぶなか、いくつかの作品を取材した。

松本陽菜さん
浅井萌菜さん

工芸のコーナーもまた、思わず感嘆の声が出てしまう作品に溢れていた。その中でも特に目を引いていたのが、このニンジン^①の作品だ。この作品は立体の作品に初めて挑戦したという松本陽菜さん（左）と、浅井萌菜さん



好きだったという水野来美さん。この絵を描こうと思った経緯を彼女にお聞きすると、「カレーを作るのが大好きな父が作ってくれる、具材が多くてなんとも言えない味のカレーを、もっと美味しく食べたい」と思っ

て描いてみた。」とのこと。そして、こ

だわった点は「大好きなトマトをメインに描こうと思い、色んな切り方や料理方法をイメージして、一つ一つ形や色を変えて描いてみた。」とおっしゃっていた。今回が初めての油絵への挑戦。尊敬する先輩を目標に描いたそう

だ。

(文責・高農)



中村高校1年
水野来美さん
作品名
『夏野菜カレーの宴』

美術の展
示では、風
景画や人物
画が多いな
かで、野菜
がメインと
なっている
この絵は一
段と目を引
いた。作者
は、中学校
時代から絵
を描くのが



写真

写真部門では、21校の391作品数、181名が391作品を出展している。審査員の中島健蔵さんは、「高校生らしさ」に注目して作品を見ていると言う。

全国に出展する作品は技術も重要だか、高知らしさが出ており、県外の方が高知に来てみたいなと思えるような作品であることもまた、一つの見るポイントであるようだ。

いう作品は、スマホが普及した21世紀だからこそできた発想の現代アートだそう。このパノラマ写真の手法には意表を突かれたという。

現在21時41分
編集作業を始
時間経ちまし

品は、全体として写真と撮ろうという気持ちで部に根付いてきているそうだ。

(文責・小津)

でもしんどい、自分たちが取材していない記事を編集するのは、とても大変でした。でも、終わってみたらやはり合宿をしているみたいで「青春」できました。

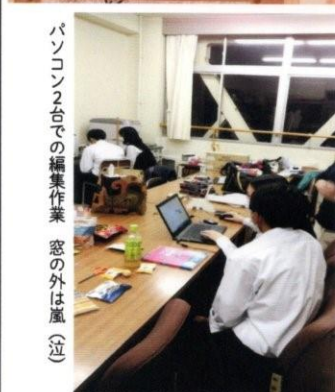
【総合編集・高知農業高校速報担当】



優秀賞
決年度全国
とうきよう
が部に根
いてきて
るそうだ。
(文責・小津)



最優秀賞



パソコン2台での編集作業 窓の外は嵐（泣）